



ニューヨーク
補習授業校
学校だより

日本語を話す仲間と 日本語で学ぶ補習校

補習校協育



令和7年(2025年)11月13日

第28号

校長 小島 昇

日本語の本に親しむ

しし校で保護者会による古本市が開かれました。カフェテリアにはご寄付いただいたたくさんのお本が並べられ、クラスごとにお気に入りの本を探す子どもたちの姿が見られました。

補習校に通う共通の目的の一つは、日本語力の維持、向上にあるでしょう。もちろん、その目的は土曜日に補習校に通うだけで達成できるものではなく、日頃から家族と日本語で会話をしたり、日本語の動画を視聴したりといった努力が欠かせません。もともと、家庭によって日本語環境は異なり、どれだけの努力が必要かは一概には言えませんが、読書については日本で学校に通っていたとしても子どもたちにとって重要な学習活動であり、補習校で学ぶ子どもたちには日本語の本に親しんでほしいと願っています。

古本市は、先日W校でも開催されました。今でこそオンラインで日本語の動画を視聴したり、オンラインで日本語の会話をしたりできる時代になっていますが、補習校が設立されてからの本自体が貴重であった歴史の中で、古本市は保護者会にとってなくてはならない事業だったに違いありません。



読書には一般的に、集中力を高め、論理的思考力を育てたり、想像力や共感力を豊かにしたりといった効果が期待されます。補習校で学ぶ子どもたちにとっては、日本語で新しい知識を得たり、日本語の語彙力や読解力を向上させたりすることが一人でもできる点で読書は優れていると言えます。

左の写真は、図書貸し出しの日の子どもたちの様子です。本を借りる手続きを終え、クラスの友だちが全員揃うまでの時間に早速借りた本を読み始めています。時代が変わっても夢中になって本を読む子どもたちが補習校にいることを嬉しく思います。

【情報提供】 昨年度もご紹介しましたが、文部科学省が開設・運営している学習支援ポータルサイト「きみの好き！応援サイト たのしくまなび隊」のPR資料です。

文部科学省

きみの好き！^{おう えん}応援サイト ^{たい}たのしくまなび隊

タブレット等端末から、無償で利用できるコンテンツを
紹介するポータルサイトです。

現在、楽しく学べるコンテンツが**300件以上**！
子供の好きや興味をぜひ、一緒に見つけてください。

目指す役割

- タブレット等
端末を用いた、
新しい学びのあり方を
提供します
- いつでもどこでも
学べる環境づくりの
一助となります
- 緊急時の
学習支援として
機能します

楽しく学べるコンテンツがいっぱい

- 運動系
コンテンツ
- プログラミング
コンテンツ
- 英語系
コンテンツ
- 理科・科学系
コンテンツ
- 宇宙系
コンテンツ

掲載コンテンツも随時募集中！
ぜひ、子供たちの学びにご活用ください！
<https://tanoshikumanabitaitei.mext.go.jp/>

サイトは
こちら